

癖のないフラットな音を再現しながらより高い Hz 数に対応した ReStandard モデル。

USB DAC  
DSD native / Dop 対応  
32bit / 384kHz 対応  
ASIO / WASAPI 対応



丸型光デジタル端子 (SPDIF) / 3.5mm Lineout  
※別仕様

対応 OS Windows Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10  
本体サイズ 幅 67 × 奥行 78 × 高さ 28 (mm)  
重量 約 166g  
電源 USB / バスパワー  
入力 USB Type-A  
出力 前面: 丸型光デジタル端子 (SPDIF) / 3.5mm Lineout  
背面: ※別仕様

サンプリング周波数  
DSD 5.0MHz 1bit  
DSD 2.8MHz 1bit  
PCM 16 / 24 / 32bit, 32 / 44.1 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 / 352.8 / 384 kHz  
SN 比 112dB  
余剰減衰 → ノイズ 0.003%  
ヘッドフォンインピーダンス 16 ~ 600Ω  
付属品 ドライブ CD / DC → USB 変換ケーブル / USB TypeB → USB TypeA  
IC4 → 3.5φ オス  
オーディオコンポ用ケーブル BRAVIO SA9227  
オペアンプ LM4562NA x2 搭載  
(交換用 MUSES 8820 x2 個 付属)

※ワンポイント  
USB バスパワーで大丈夫？音好きにとっては勿論の疑問です。しかしパソコンと一緒に持ち運べる利便性の一つでもあるのは確かです。そこで本製品はバスパワーでの動作とともに DC ジャックも装備しています。付属品には DC → USB ケーブルもありますのでお好みの USB → AC と接続して頂く事でご利用環境を選んでご利用頂けます。

※ワンポイント 2  
視覚的に分かりやすく、製品本体の上面には Hz 数の記載とともに LED を搭載しています。これは現在本製品を通して鳴らされている音源の再生音源の Hz 数を表示しています。ヘッドフォンのイコライジング前やパソコン内部の再生ソフトの設定ミスともバツと見て分かりやすくなっています。96kHz の音源が 44.1kHz で再生されているヘッドフォンの具合が悪いと思う事もなくなります。注) 本製品に再生ソフトは同梱しておりませんが再生ソフト側の設定方法はソフト側でご確認ください。

※ワンポイント 3  
32bit / 384kHz に対応。もはや可聴域？と思いたくなる Hz 数ですがより高解像度になった清らかな楽曲を聴いた喜びがこざいます。



パソコンとの接続は付属の USB ケーブルを用いて接続して頂くだけです。

■オペアンプの交換方法  
※本作業には 2.5mm 六角が別途必要となります。  
交換作業による部品の破損や故障に関しては保証対象外となりますので自己責任にて行って下さい。

① 上記 4ヶ所の六角ネジを取り外して下さい。

② 本体のネジが付いている部分を下にし、ゆっくりと黒い部分をスライドして下さい。

③ 取付動画 QR コード

オペアンプの取り付け後は②→①の手順で元に戻して下さい。

オペアンプ  
取り外しはゆっくりと真上に引き抜いて下さい。

4 3 2 1  
5 6 7 8

4 3 2 1  
5 6 7 8

8 7 6 5  
1 2 3 4

8 7 6 5  
1 2 3 4

製品保証書

本書は本記載内容を初購入から 1 年間無償修理をお約束するものです。取扱説明書/製品化箱箱注意書きの注意に従い使用し、保証期間内にお申し出があった場合に限り有効となります。  
不具合の可能性並びに修理となった場合であっても当社では良品の先送りなどのサービスは行っておりません。不具合は当社保証規定並びに注意内容を元に判定するものであり、お客様が判断を行うものではございません。

無料修理規定

保証の対象はハードウェア部分となります。特定の機器でのみ発生する不具合/相性は保証対象外となります。下記の場合は保証期間内であっても有償となります。

- 1) 本保証書のご提示が無い場合。
- 2) 本書所定事項の未記入、字句の書換え及び販売日販売店表記が無い場合。
- 3) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地災、公害や異常電圧による故障及び破損。
- 4) 盗難、上げ下げ後の破損、落下による故障及び破損。
- 5) 消耗品部分による部品交換。
- 6) 改造又はご使用の責任と認められる故障及び破損。
- 7) 前述以外のご使用で生じた故障及び破損。
- 8) 故障の原因が本製品以外に起因する故障及び破損。
- 9) 本書及び製品説明書記載の注意事項をお守り頂けなかった場合。

【初期不良期間に申しまして】

本製品をご購入日より 14 日以内の場合、初期不良であると当社からの案内を行った場合当社が送料を負担いたします。(当社指定の発送会社に発送します)  
※初期不良かと思われた場合、まずユーザーサポートメールにてお問合せ下さい。  
※初期不良期間が過ぎた場合、当社へ直接発送される場合の送料はお客様ご負担、またはご購入店へお持ち帰りとなります。

【商品をご利用前】

本製品の故障又はその使用上生じた他製品の損害・データ破損につきましては責任を負いません。本製品を用いる場合は必ず、それらの接続する機器のバックアップを行って下さい。

※その他ご不明な点は当社製品サイト (<http://www.area-powers.jp>) の保証規定をご確認ください。  
※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。  
※本保証書は日本国内でのみ有効となります。海外持ち出し/輸出対象製品ではございません。  
※保証期間中に印字が消える可能性がありますのでコピー等を行い本書と同様に保管してください。

型番	U219A/8820( 音響 DSD )		
シリアル	商品により異なりますが、機内保証書に記載してある番号です。保証書に記入して頂く必要があります。	保証期間	初期不良期間 14 日間 ご購入日より 1 年間
販売店名	販売小売店/シート/購入証明書/保証書/代用可能 (製品型番が明記されている事。同じ型番の場合、保証期間内に印字が消える可能性がありますのでコピー等を行い本書と同様に保管してください。)		
ご購入年月日	【 年 月 日 】		
印			
(購入/発行) 株式会社エアリア SD 部			

■ドライバインストール (デバイスを接続後に行ってください。)

付属のドライブ CD より Savitech フォルダ内 SA9227 フォルダ内 setup.exe をダブルクリックしてインストールをスタートして下さい。

「Next」をクリックして下さい。

「Next」をクリックして下さい。

「Next」をクリックして下さい。

「Next」をクリックして下さい。

Windows セキュリティが表示された場合は「インストール」をクリックして下さい。

再起動を促すメッセージが出ますので、このまま再起動しても問題ない場合は「はい」をクリックして下さい。他のソフトが起動している場合は「いいえ」をクリックして下さい。

インストールが完了します。

「はい」をクリックした場合は次の画面で「Close」をクリックして下さい。  
パソコンを再起動して置いてインストール完了となります。

■Hz 数の設定変更に関して

デスクトップ右下のスピーカーのアイコンより再生デバイスを選択して下さい。

再生デバイスから本製品を選択し、右クリックで表示の中からプロパティを選択して下さい。

「詳細」タブをクリックして下さい。

再生したい音源の Hz 数を選択して頂く事が可能です。

■電源を入れる

ボリュームコントロールを時計方向に回して頂くとカチッと音が入ります。電源が入りますと本体上面の LED も点灯します。

デスクトップ上にショートカットが作成されます。ダブルクリックして頂く事で右のようソフトが起動します。

閉じた場合は開いていますのデスクトップ右下から「Show」を選択して下さい。再度表示されます。

本機能は本製品では使用しません。

FAQ

- Q / ハイレゾ音源や DSD 音源を再生しても LED が点灯しません。ご利用の再生ソフトが対応していない可能性があります。ソフトウェアの対応をご確認ください。
- Q / 製品から音が出られません。Windows 側のボリューム設定の状況をご確認ください。また、本製品が既定のサウンドデバイスになっているかも併せてご確認ください。
- Q / パソコンのデバイスマネージャ上で認識しません。USB ポートの変更をお試し下さい。また、必ず USB Hub はご利用せずにパソコン本体の USB ポートへ接続して下さい。
- Q / ハイレゾ音源や DSD 音源を再生しても LED が点灯しません。ご利用の再生ソフトが対応していない可能性があります。ソフトウェアの対応をご確認ください。
- Q / 製品から音が出られません。Windows 側のボリューム設定の状況をご確認ください。また、本製品が既定のサウンドデバイスになっているかも併せてご確認ください。
- Q / パソコンのデバイスマネージャ上で認識しません。USB ポートの変更をお試し下さい。また、必ず USB Hub はご利用せずにパソコン本体の USB ポートへ接続して下さい。

ノートパソコンにてご利用の場合は省電力モード等の兼ね合いで USB ポートへの電力供給が低くなっている場合がございます。この場合はノートパソコンに AC アダプタを接続した状態でお試しください。